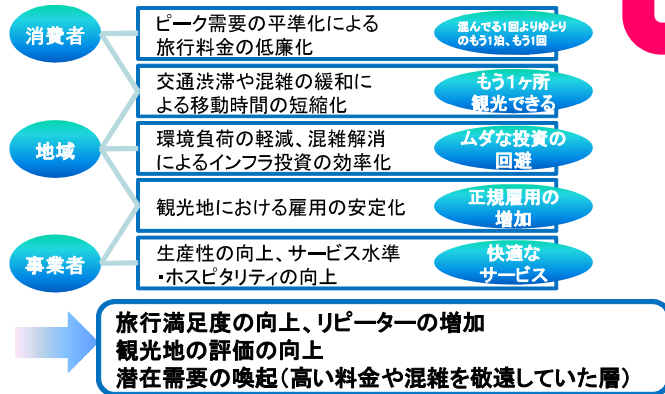


休暇取得の分散化により期待できる効果

混雑緩和で2.8兆円の新規旅行需要

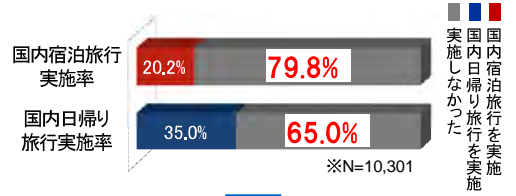
- 【春のゴールデンウィークの分散化】
- (実績) 平成22年GWの国内旅行消費額 約1.4兆円
 - (新規) 混雑緩和による新たな国内旅行需要 約1兆円
- 【秋の連休の設定】
- (実績) 平成21年SWの国内旅行消費額 約1.4兆円
 - (新規) 新たに創出される国内旅行需要 約1.8兆円 ※精査中

需要平準化の効果

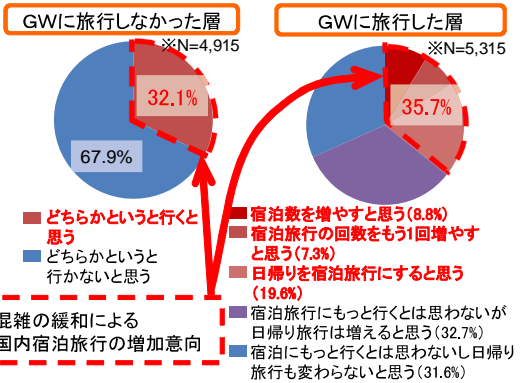


※観光庁「GWにおける観光旅行」調査より。
調査概要：2010年①4月3日～6日及び②5月15日～16日の期間において、1万人以上を対象にインターネット調査を実施。

GWの旅行実施状況



Q: GWにおける混雑が緩和されれば、国内宿泊旅行に行くと思いますか？



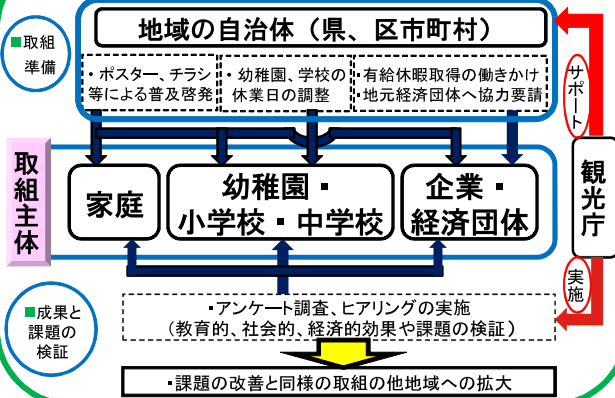
家族の時間づくりプロジェクト(休暇取得・分散化促進実証事業)の概要

家族の時間づくりプロジェクトとは

- 地域ぐるみの「家族の時間づくり」を目的として、各地域の協力のもと、大人(企業)と子ども(学校)の休みのマッチングを行う実証事業。
- 「家族の時間」がもたらす教育的・社会的効果を明らかにするとともに、取組課題とその改善方策の検証を行い、同様の取組実施を広く働きかけることを目指す。

各地域における取組の実施と効果の検証

<具体的な取組は各地域と調整の上実施(下記内容は一例)>

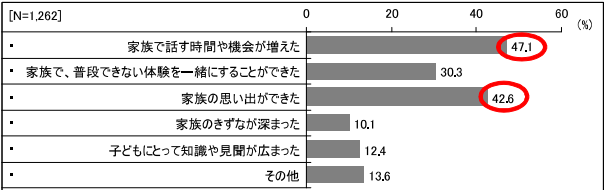


平成22年度における取組の例:三重県桑名市

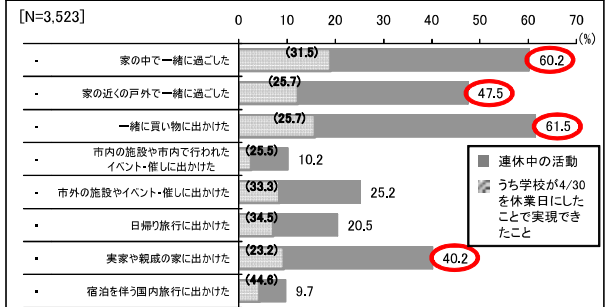
- 4/30(金)に学校を休みとし、4/29(木)～5/5(水)まで7連休を設定
- 4/30(金)は、市内主要事業所52社中、25社(48%)が休業日
- 市の博物館など5施設を無料開放し展示物などを特別公開

アンケート調査結果(抜粋)

○【保護者の声】4/30(金)の休日が家庭にもたらした良い影響



○【保護者の声】4/30(金)を休業日にしたことによって実現できたこと



○【学校関係者の声】学校休日を移動させることへの評価・影響

- ・4/30(金)を休日に設定することについて、学校長、教職員の大数から特に困難は生じなかったとの回答があった。
- ・子ども達にとっては、親子で一緒に出かける時間や機会が増えた(よだ)、という回答が、教職員の約8割からあった。

独立行政法人国際観光振興機構(JNTO/通称:日本政府観光局)の概要

目的

海外における観光宣伝、外国人観光旅客に対する観光案内、その他外国人観光旅客の来訪の促進に必要な業務を効率的に行うことにより、国際観光の振興を図ることを目的とする。

組織・予算

- 役員：6人(理事長1、理事3、監事2)
- 職員：92人(国内61人、海外31人) ※平成23年1月1日現在
- 国内：2本部4部制
2本部(企画本部、事業本部)
4部(総務部、企画部、海外プロモーション部、コンベンション誘致部)
- 海外：13事務所
- 運営費交付金：19億円(平成22年度)

沿革

- 昭和39年 4月 特殊法人国際観光振興会設立
- 平成15年10月 独立行政法人国際観光振興機構設立

根拠法

独立行政法人国際観光振興機構法(平成14年法律第181号)

業務

- 外国人観光旅客の来訪促進のための宣伝
- 外国人観光旅客に対する観光案内所の運営
- 通訳案内士試験事務の代行
- 国際観光に関する調査研究・出版物の刊行
- 国際会議等の誘致促進、開催の円滑化等
- その他附帯業務

